

エコシルフィをご採用いただきました
吉本興業(株)体育館改修工事が掲載されました。
『日経アーキテクチャ』2010. 7. 12



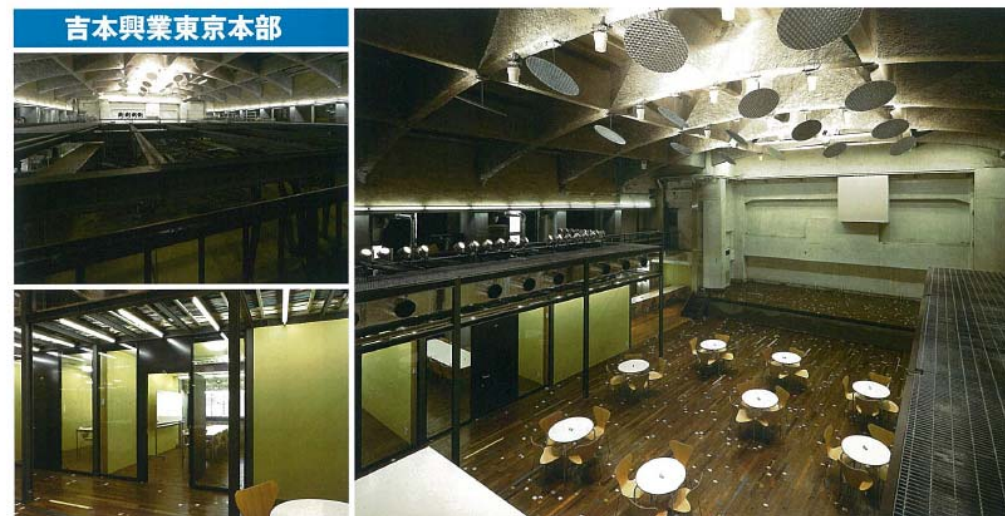
内装をほとんどスケルトンにせざるを得なかった点が残念だ」と話す。

ユニット化し転用可能な会議室に

吉本興業東京本部が旧四谷第五小学校に移転したのは08年のこと。移転当初は、校舎部分だけの再利用だったが、今年3月、体育館が会議室として生まれ変わった。「会社が成長したこともあり、校舎だけでは会議ス

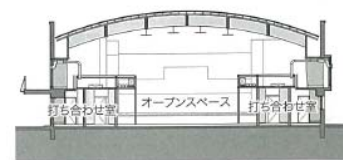
ペースが足りなくなった。会議室にしておけば、後々、オフィスにも転用しやすいと判断した」とよしもとアドミニストレーション総務センター総務室東京総務室の神尾崇氏は話す。校舎の改修設計も手掛けたアーキタイプの荒木信雄氏は同社から相談を持ちかけられた際、あえて壁を新設せず、パーティションを組み合わせたプランを提案し採用された。「10

年という契約期間を考慮すると、その後の移転先でも利用できるようなしたかった」と荒木氏は説明する。パーティションで区切られた会議室とオープンスペースで構成。空調や電気などの設備はパーティションの天井部分に設置した。「設備がそろっているので、会議室をオフィスに転用することも容易だ」と荒木氏は話す。(岡本 藍)

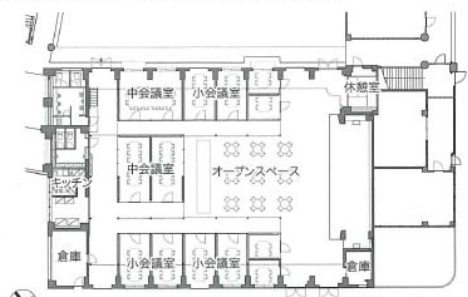


左上：パーティション上部。鉄骨で架台を組んで、照明や空調などすべての設備系を管理できるようにした。左下：パーティションで仕切った会議室。ガラス部分は木材やスチールパネルに変更することも可能。右：オープンスペースの打ち合わせ空間。体育館にあったステージはそのまま残し、所属する芸能人などの練習で活用することを想定している。本誌07年10月22日号と08年5月26日号に関連記事

吉本興業(旧四谷第五小学校)体育館改修工事
▶所在地:東京都新宿区新宿 ▶主用途:事務所 ▶地域・地区:商業地域
▶延べ面積:777.97㎡ ▶構造・階数:S造・一部RC造、地上2階 ▶設計者・建築:アーキタイプ(荒木信雄)、耐震改修:大成基礎設計(原行雄) ▶設計協力・構造:我伊野構造設計室、電気:EOS plus、機械:Comodo設備計画、照明:On&Off,inc ▶施工:大成建設、パーティション:内田洋行



改修後断面図 1/400



改修後平面図 1/500